

じどうしつだより

春日井市図書館
2016. 9月号

絵本コーナーではテーマを決めて絵本の紹介をしています。今回のテーマは「たいせつないのち」です。



いのちのふね

鈴木 まもる/作
講談社
E/コウ/11-25X27

たくさんの人々をのせて、「いのちのふね」は大空を旅しています。ふねの行き先は大きな雲の中。雲の中で人々はみんな楽しそうに過ごしています。人々はその後、どこへ行くのでしょうか？美しい絵で、亡くなっていく命と、生まれてくる命を幻想的に描いている絵本です。ぜひ、お子さんと一緒に、大人も読んでみてください。



なきすぎてはいけない

内田 麟太郎/作
たかす かずみ/絵
岩崎書店
E/イワ/09-25

ないてもいい。でも、なきすぎてはいけない。わたしが好きなおまえは、わらっていたおまえだから。誰にも等しく訪れる、大切な人の別れ。残していくほうも、残されるほうも苦しい別れ。けれどそんなつらいだけの別れにも、救いはきっとあるはず。そう信じさせてくれるような、優しい物語です。



わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ/さく え
小川 仁央/やく
評論社
E/ヒヨ/11-22X27

かしこくて、みんなに頼りにされているアナグマさん。みんなアナグマさんが大好きです。けれど、アナグマさんはとても長い間生きてきました。そしてついに、お別れの時間がやってきてしまったのです。人も、動物も、生きていればみんな「いのち」に終わりがやってきます。お母さん、お父さんと、ぜひこの本を読んで「いのち」ってなんだろう？と考えてみてください！



きみのかわりはどこにもいない

メロディー・カールソン/ぶん
スティーブ・ビョークマン/え
徳永 大/やく
いのちのことば社
E/イノ/11-23X23

夕暮れどき、羊飼いが100匹の羊をつれて家に帰ってきました。数えていくと、99匹しかいないことに気が付きます。羊飼いは家を飛び出し、迷子の羊を探しに野を越え、山を越え…。ついに羊を見つけ、「どれほどぼくがしんぱいだったか」と抱きしめました。気持ちがやさしくなるようなやわらかい絵で、表情豊かに描かれた、「かわりなんてどこにもいない」と伝えるこのおはなしを、ぜひ、よんでみてください。

ボランティアさんのおススメ絵本



ひみつのカレーライス

井上 荒野/作
田中 清代/絵
アリス館
E/アリ/09-30

いつ食べてもおいしい、みんな大好きカレーライス！そんなカレーの実がなる木が家にあったらいいなあって思いませんか？ある日フミオが食べたカレーライスから出てきたカレーのたね、それを庭にまいてみると、芽が出てみるみる大きな木に。そして木にはお血の葉っぱがつき、ふくじん漬けの花が咲き、きいろいカレーの実と白いライスの実がなりました。実からはカレーのいいにおいが町じゅうに漂い、近所の人たちが押しかけてきますが…和服のお父さん、かっぱ着姿のお母さんと「昭和」を感じさせる、どことなくレトロな絵がまたいい雰囲気です。
(ハッピースマイル)

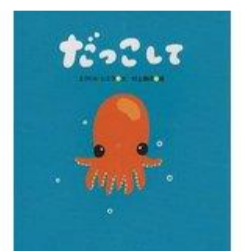
ふれあいの絵本

過ごしやすいこの季節、親子でゆったりふれあいませんか？



このてはあなたのために

ダイアン・アダムズ/ぶん
ページ・カイザー/え
やまね もとよ/やく
評論社 E/ヒヨ/14-22



だっこして

エクトル・シエラ/文
むらかみ やすなり
村上 康成/絵
佼成出版社
E/コウ/07-25

春日井市図書館・児童室のご案内

開館時間：火曜日～日曜日 午前9時～午後8時
休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）
電話 (0568) 85-6800